



理事長 澁谷 隆義
副理事長 原 藤 壽
役員 田 佐 敏 典
同 中 一 之

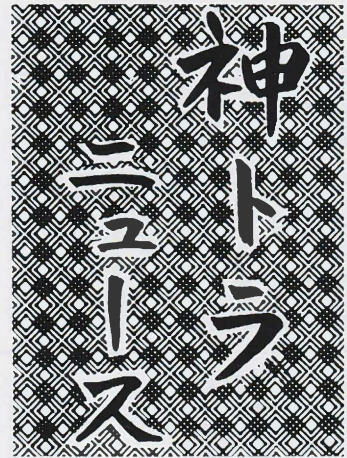
神田トラック運送事業協同組合

平成三十一年 元旦

旧年中は組合の運営と事業利用に格別のご協力を賜わり厚くお礼申し上げます本年も相変わらずご支援の程お願い申し上げます



謹 賀 新 年



発行所

東京都千代田区内神田1-12-3

神田トラック運送事業協同組合

電話 3259-9977(代)

FAX 3259-9988

平成三十一年

年頭のご挨拶

理事長

澁谷 隆義



新年明けましておめでとうございます。

平成三十一年（五月には新元号となりますが）が組合員の皆様に幸多き年になることを願っております。

昨年は組合の運営に多大なご支援とご協力を賜り誠にありがとうございました。おかげさまで業績も順調に推移しており、前期同様の利益が確保できそうです。

安倍政権で景気はバブル崩壊前の状況に回復したと言われていますが、私達運送業界にはまだまだ実感が無いのが現実ではないでしょうか？

燃料価格の高騰、人手不足、環境や安全に対しての設備投資、また新たに車両制限令問題等、課題は山積しています。

私が神田トラック運送事業協同組合の理事長を拝命して早くも二年が過ぎました。この伝統ある優秀な組合の運営を任されることは非常に身の方々が努力して築きあげた組合を守

つていくのが私の使命と考えて頑張ってきました。

今年にはラクビーのワールドカップ、そして来年は東京オリンピック、二〇二五年には大阪万博も決まりました。昨年は築地市場の移転もありました。そうそう今年は消費税増税も控えていましたね。私達運送業界を取り巻く環境は日々変化していくと考えています。

取り留めない文章を書いてしまいましたが、神田トラック運送事業協同組合は本年も組合員各社様との良好な関係を保ち良い雰囲気の中で堅実な事業活動を続けて行きたいと思っています。組合員各社様あつての神田であることを強く認識して正副理事長、理事の皆様、事務局と一層協力して組合運営にあたっていく所存です。組合員各社様には引き続きご支援ご協力を賜りますようよろしく願います。

一月三十日組合の新年会がホテルメトロポリタンエンドモント東京で開催されます。組合各社様のご出席をお待ちすると共にお会いできるのを楽しみにしております。



＊新春特別寄稿＊

神トラニュースの効用

カンダホールディングス（株）

専務取締役 原島 藤壽



新年あけましておめでとうございます。

昨年は理事の方々をはじめ、事務局の方々には大変お世話になりました。この場を借りまして御礼申し上げます。

さて、年末年始は忘年会や新年会などで『御酒』を飲む機会は特に多いと思います。お互いをよく知り、口を滑らかにする上で、『御酒』は不可欠になってきますが、初めて御一緒させて頂く方との話では、よく出る話題として、「何の御酒が好きですか？」という話題が出る事があります。

私の場合は、実は義理の兄妻の兄が「千曲錦」という日本酒の酒造会社の役員をしている関係で、その話になると「キター！」とばかりに、

「実は日本酒が好きで……」

「日本酒の中では決まった銘柄が

好きでして…」

「長野の『千曲錦』というお酒が、一番好きで…」

「実は、種を明かすと義理の兄が、造り酒屋で『売る程』作っているのですが、最近日本酒の需要が減ってきているので、いつもPRしているのです」という話を、1つルーチンの様に話をさせて頂いております。

先日『全日本トラック協会の物流政策委員会』の会議に出席し、その後の懇親会の席でのことですが、初めて御一緒する方々との懇親会で、お酒の話題が出ましたので、いつもの様にこのルーチンの話をしたところ、その中の一人の物流のシンクタンクをされている女性の方から、

「原島さんは、ひょっとして、御祖父さんが、日本酒が好きで、子供の時に飲み方を教わった」という文章を以前書かれていませんか？」と質問を頂きました。

正直、びっくりしてしまいました。その文章は、確か私がカントラニュースの100号で書かせて頂いた文章だったかと思えます。事務局の方より、「何でも良いので、書いて下さい」という依頼で、折角の100号記念号の寄稿にも関わらず、神トラの歴史とかの当組合に纏わる話では無く、『日本酒の飲み方について』を云々書いてしまったので、確かにあの号見た方からは『異色』の文章になってしまったかもしれません。

しかし失礼ながら『神トラニュー

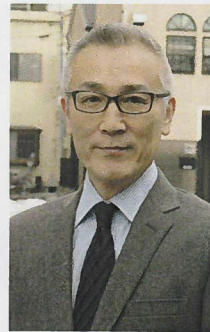


「働き方改革」の大きな

うねり

サトランス(株)

代表取締役 佐藤 克典



新年明けましておめでとうございます。

昨年は変革を恐れず何事にもチャレンジしようといった感じのお話を寄稿させて頂いたしましたが、さて結果はというと色々なことにチャレンジし自分も会社も変わろうとしているうちに例の「働き方改革」つてやつがどんどん打ち寄せてきて2024年までは変革・改革を強力に推し進めなければならぬ受動的な雰囲気になってしまいました。

今年4月からは全社員に有給休暇5日付与とか、2023年4月からは60時間を超える残業には今までの25%割増から50%割増に引き上げられるとか、最後2024年からは年間残業上限960時間がスタートするなど今から対応に頭を痛めています。取り急ぎ弊社では全業務を一つ一つ調べて5分以上の休憩時間をかき集めています。その情報は勿論担当ドライバーから得るのですがドライバーからすれば、さぼっているように思われ

たくないのと言いたくないですよね。その気持ちはよく分かります。そこで弊社では休憩を多く報告した方が会社には貢献しているという雰囲気作りからスタートし、勿論給与も減らさないことを明言しています。

結果は分かりませんが「塵も積もれば…」方式です。そして全体を改めて掌握してから次のステップに移ろうと考えています。

また一方ではその「働き方改革」の号令のもと、ドライバーへの配送負担軽減を目的に警視庁が都内数か所に配送車両専用の駐車スペースを瞬く間に設けました。将来的には100ヶ所程度設ける予定だそうです。

それだけでは全く足りないと思うのですが、東京都トラック協会が駐車問題に関わるアンケートを実施した際、駐車監視員が20分間待ってくれれば90%の会員が納品や集荷を完了することができると答えています。

取締り回避のために2名乗務など現状の運賃や人手不足を考えると現実的ではありません。

昨年暮れに原島副理事長と共に警視庁交通規制課を訪問し、その辺りも含めた要望書を提出してまいりましたが、交通事故撲滅や渋滞緩和の観点から簡単に「20分待ちましよう」とはならないでしょう。

我々運送事業者が抱える諸問題の解決策を突き詰めていくと、どの問題も答えは「適正運賃の収受」に繋

がっていきます。

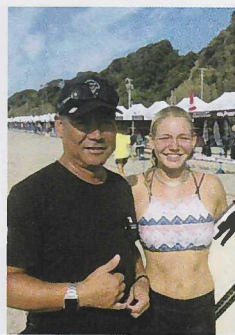
組合員の皆様にとって2019年が素晴らしい年でありますよう心よりお祈り申し上げます。



「新年のご挨拶」

新聞輸送(株)

代表取締役 田中 敏之



新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

2020年東京オリンピックに向けて、着々と整備が進む中、私共の会社がごいます港区に開業する新駅名が「高輪グレートウエイ」に決定いたしました。もともと車両基地としてあった土地が3階建ての駅舎となるそう、現在は既存ビルの一棟の取壊し等の工事が進んでおります。

私がまだ社員であった頃は古い建物や倉庫が建ち並んでおりましたが、今や高級住宅地と化し、社屋やトラックが浮いて見える風景と変わり、時代の流れを身にしみて感じています。

さて、2018年度の漢字は「災」でした。

北海道、大阪、島根の地震、西日本豪雨や台風、記録的な猛暑などの自然災害に見舞われた年であり、フロンガスによる環境問題が明るみとなった頃に言われていた自然災害が現実化して参りました。

また、大学入試の不正問題やバウハラ問題、様々な文書の改ざん問題、大企業トップの逮捕等社会的な災いの多い一年でもありました。

暗い出来事が続いておりますが、年が明け、初日の出を拝みますと何故だかリセットされた気分になるのは私だけでしょうか？



働き方改革も進み、トラック業界は先行き不安な問題を抱えながらの新年となります。

しかしながら、ナポレオン・ヒルの著書にもありますように「思考は現実化する」、我々経営者の思考次第で会社は変わると信じ、今年も皆様と邁進して参りたいと思います。

本年も皆様にとりまして幸多き一年となりますよう祈願いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。

❖ 神トラの一年 ❖

平成30年を振り返って

平成30年新年会

神トラの年始めの行事は新年会です。皆様の交流の場になればと毎年催しております。講演会を開催したり、余興を楽しんだり、最後には抽選会を行っています。

平成30年は、1月30日ホテルグランドパレスにて開催。古今亭志ん丸さん、マギー隆司さんをお招きして、落語から獅子舞、そして楽しいマジックをご披露いただき大変賑わいました。抽選会には盛り上がり、どなたが1等賞を当てるのかドキドキ、ワクワクします。今年はどうなるのかに1等賞が当たるでしょうか！



新年懇親

神田トラック運送事業協同組合



第44回通常総会

平成30年6月13日ホテルメトロポリタンエドモントにて総会が開催されました。

理事会にて承認された議案を提出し、平成29年度決算関係書類が承認され、平成30年度事業計画、収支予算等が承認されました。総会後、懇親会に移り和やかな時間を過ごしました。



ETCコーポレートカード 管理者研修会

平成30年10月3日に「ETCコーポレートカード管理者研修会」を開催しました。高速道路別納事業は、事業収入の柱であり、組合の運営を支えております。昨今、ETCコーポレートカードの利用には、様々な法改正もあり、特に「車両制限令」が平成30年4月より強化された経緯もあることから、正しいカード利用を促進するため、組合主催の研修会を開催しております。

今後も研修会は継続して開催してまいります。ご利用の組合員様におかれましては、カード利用などについてご不明な点は、いつでも事務局までお問い合わせ下さい。



が弾みます。是非、大勢の方に
参加頂きたく思っております。